

令和8年度

事務事業の概要

環境農政局

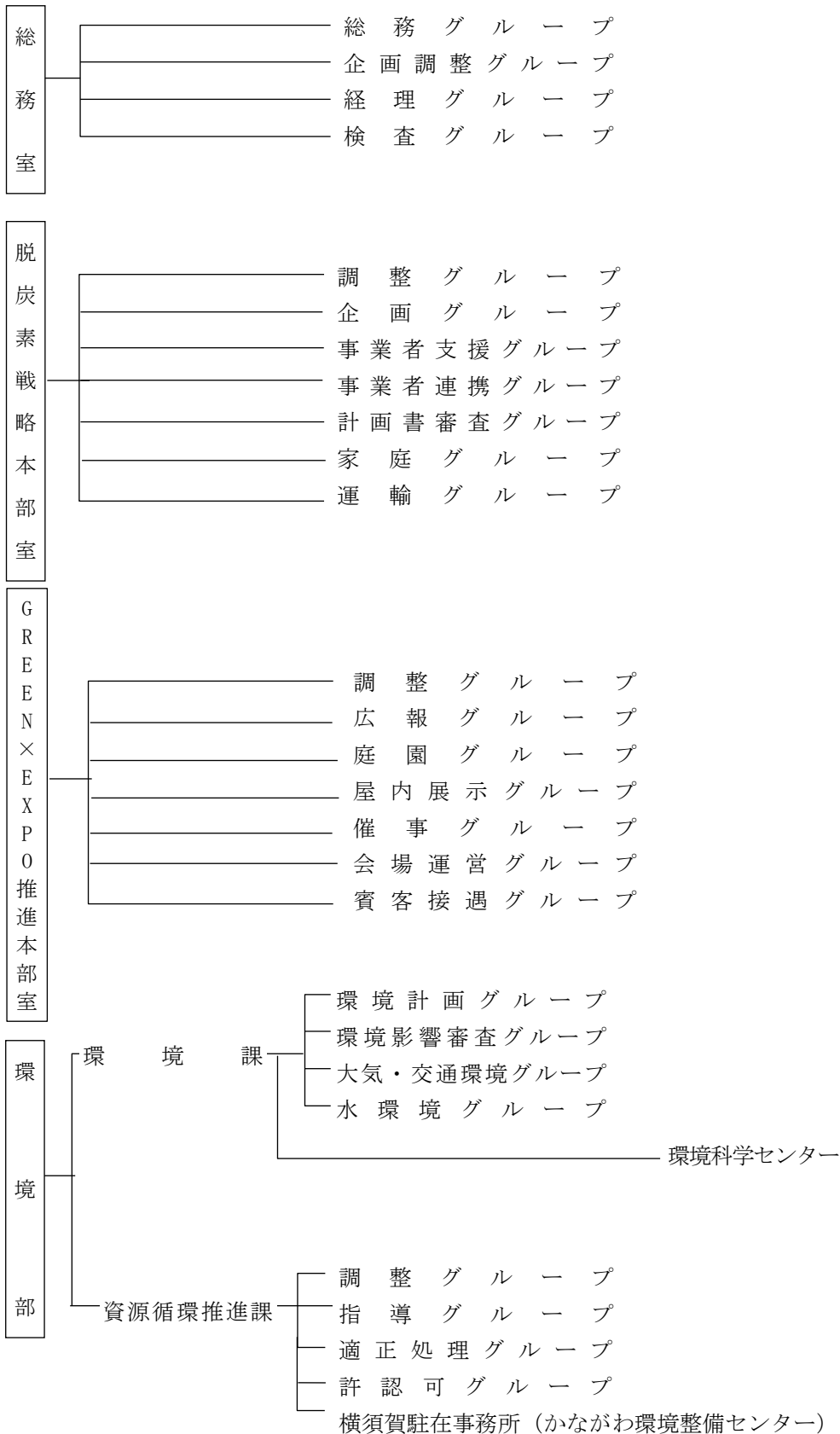
令和8年6月

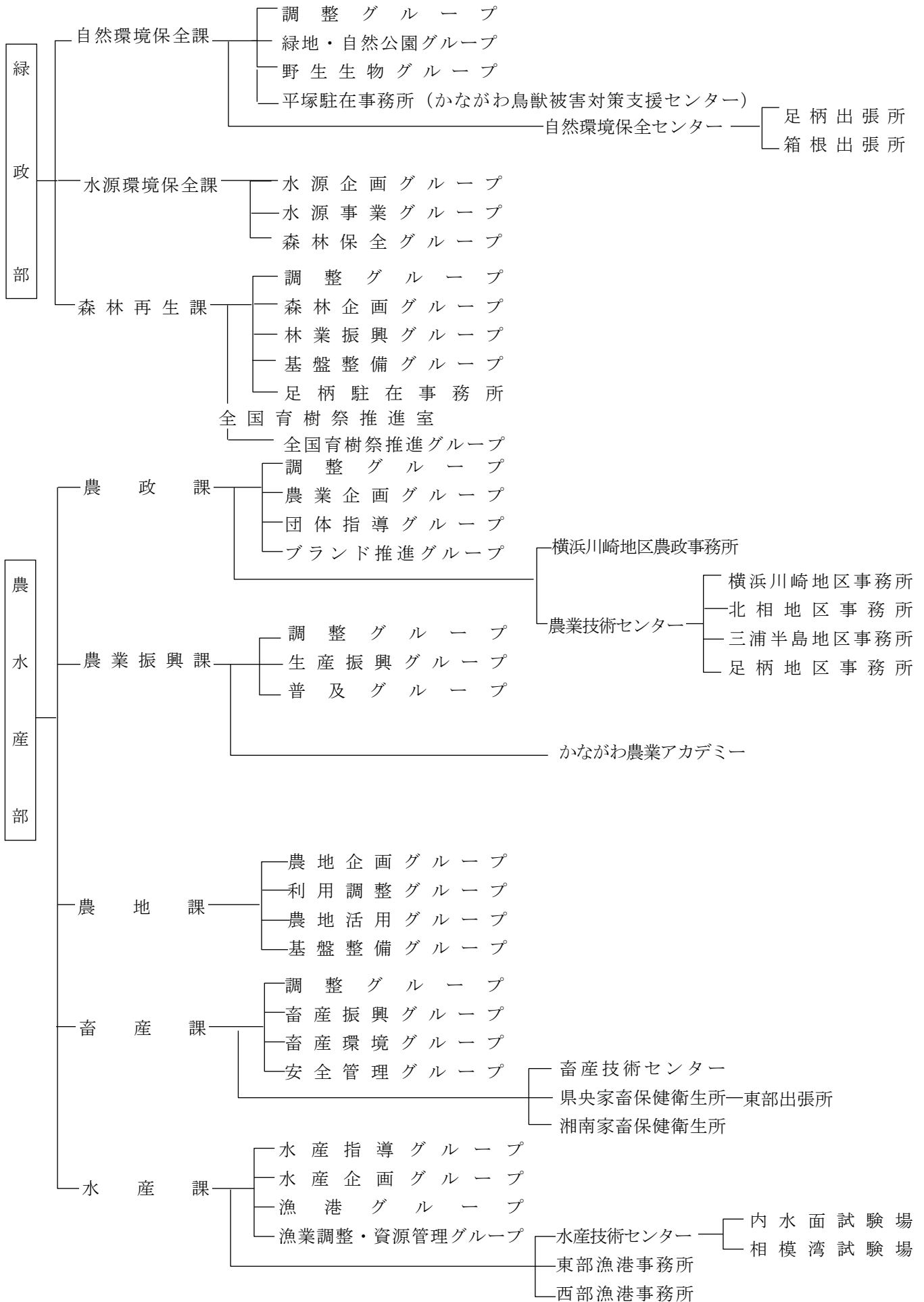
目 次

I 組織の概要	
1 組織機構図	1
2 幹部職員一覧	4
3 分掌事務	6
4 職員配置	11
II 予算の概要	
令和8年度当初予算総括表	12
III 事業の概要	
令和8年度主要事業の概要	13

I 組織の概要

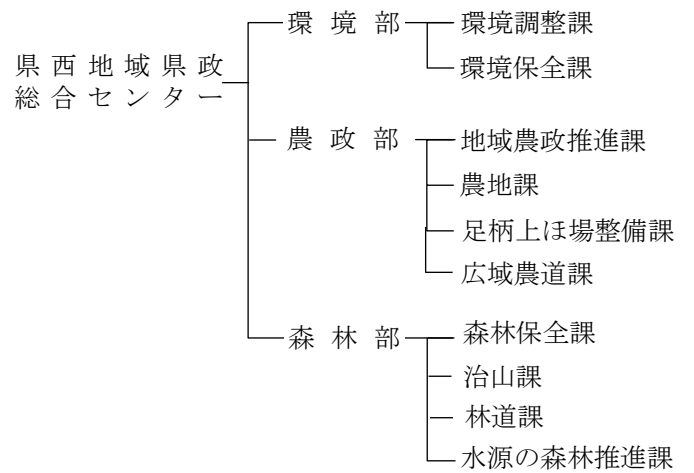
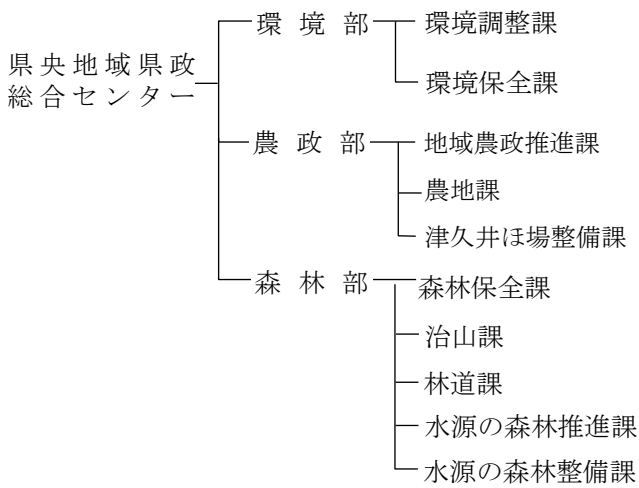
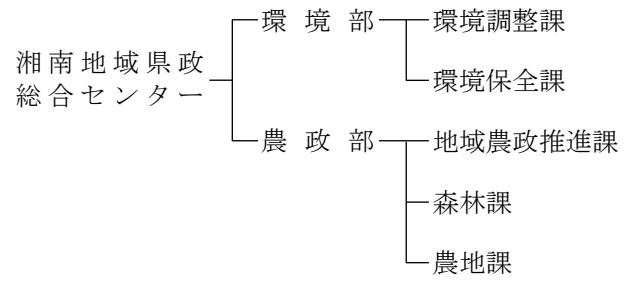
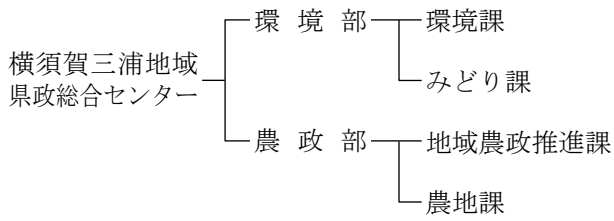
1 組織機構図





(参考)

各地域県政総合センター



2 幹部職員一覽

令和8年4月1日現在

(1) 本庁機関

職名	氏名	職名	氏名
環境農政局局長 兼脱炭素戦略担当局長	尾塚 美貴江	GREEN×EXPO推進本部室 出展事業担当課長	合田 真吾
環境農政局副局長 兼総務室長	足立 早苗	GREEN×EXPO推進本部室 担当課長(公益社団法人2027 年国際園芸博覧会協会派遣)	伊東 広人
脱炭素戦略本部室長	長島 圭太	環境部環境課長	寺下 明文
GREEN×EXPO推進本部室長	竜江 義如	環境部資源循環推進課長	松本 晋一
環境部長	田中 晃	環境部審査調整担当課長	工藤 美子
緑政部長	井出 博晶	緑政部自然環境保全課長	小堀 孝二
大規模公園担当部長 兼都市緑地担当部長	小酒井 淑乃	緑政部水源環境保全課長	伊大知 武志
農水産部長	納富 尚義	緑政部森林再生課長	十鳥 和美
総務室企画調整担当課長	小林 雄一	緑政部森林再生課 全国育樹祭推進室長	張本 達宏
総務室管理担当課長	奈良 剛史	農水産部農政課長	原 靖英
総務室経理担当課長	椎野 貴純	農水産部農業振興課長	栢原 知子
総務室 協同組合検査担当課長	松谷 尚彦	農水産部農地課長	岸田 智好
脱炭素戦略本部室長 脱炭素企画担当課長	小野里 知彦	農水産部畜産課長	佐藤 剛志
脱炭素戦略本部室長 事業者脱炭素担当課長	平賀 修	農水産部水産課長	小川 砂郎
GREEN×EXPO推進本部室長 企画担当課長	加藤 花苗	農水産部水産振興担当課長	田島 良博

(2) 出先機関

名 称	所 在 地	職 名 ・ 氏 名
環 境 科 学 セ ン タ ー	平塚市四之宮1丁目3-39	所 長 加藤 陽一
自 然 環 境 保 全 セ ン タ ー	厚木市七沢657	所 長 大貫 信近
横 浜 川 崎 地 区 農 政 事 務 所	横浜市緑区三保町2076	所 長 木下 秋彦
農 業 技 術 セ ン タ ー	平塚市上吉沢1617	所 長 井上 悌司
か な が わ 農 業 ア カ デ ミ ー	海老名市杉久保北5丁目1-1	校 長 藤田 信行
畜 産 技 術 セ ン タ ー	海老名市本郷3750	所 長 小菅 知之
県 央 家 畜 保 健 衛 生 所	海老名市本郷3658	所 長 島村 剛
湘 南 家 畜 保 健 衛 生 所	平塚市寺田縄345	所 長 仲澤 浩江
水 産 技 術 セ ン タ ー	三浦市三崎町城ヶ島養老子	所 長 原 日出夫
東 部 漁 港 事 務 所	三浦市晴海町1-7	所 長 塚本 健介
西 部 漁 港 事 務 所	小田原市早川1丁目2-1	所 長 永埜 浩司

3 分掌事務

総務室

- 1 環境農政局の所管行政の企画及び調整に関すること。
- 2 環境農政局所属職員の人事及び給与、旅費等の総括に関すること。
- 3 環境農政局の所管行政に係る重要事業の進行管理に関すること。
- 4 環境農政局の所管行政に係る事務能率の増進に関すること。
- 5 環境農政局の所管行政に係る情報公開、情報提供、個人情報保護及び広聴の総括に関すること。
- 6 環境農政局の予算の経理（他課の主管に属するものを除く。）に関すること。
- 7 農林水産業災害に係る事務の総括に関すること。
- 8 環境農政局所管に属する土木工事の検査及び技術管理に関すること。
- 9 農業協同組合、水産業協同組合及び森林組合の検査指導に関すること。
- 10 鉱業権に係る関係行政機関との連絡調整等に関すること。
- 11 その他環境農政局内他課の主管に属しないこと。

脱炭素戦略本部室

- 1 脱炭素の推進に係る総合的企画及び調整に関すること。
- 2 地球温暖化対策計画の推進に関すること。
- 3 神奈川県地球温暖化対策推進条例（平成21年神奈川県条例第57号）の施行に関すること。

GREEN×EXPO 推進本部室

- 1 2027年国際園芸博覧会の開催に係る総合的企画及び調整に関すること。

環境部

環境課

- 1 環境農政局環境部内各課の総合調整に関すること。
- 2 環境基本計画の推進及び総合調整に関すること。
- 3 環境施策の企画、調査及び研究に関すること。
- 4 環境教育の推進に関すること。
- 5 神奈川県環境基本条例（平成8年神奈川県条例第12号）の施行に関すること。
- 6 環境影響評価法（平成9年法律第81号）の施行に関すること。
- 7 神奈川県環境影響評価条例（昭和55年神奈川県条例第36号）の施行に関すること。
- 8 大気汚染防止法（昭和43年法律第97号）の施行に関すること。
- 9 水質汚濁防止法（昭和45年法律第138号）の施行に関すること。
- 10 騒音規制法（昭和43年法律第98号）の施行に関すること。
- 11 振動規制法（昭和51年法律第64号）の施行に関すること。
- 12 自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する

- る特別措置法（平成4年法律第70号）の施行に関する事。
- 13 特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（平成17年法律第51号）の施行に関する事。
 - 14 悪臭防止法（昭和46年法律第91号）の施行に関する事。
 - 15 土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）の施行に関する事。
 - 16 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（平成11年法律第86号）の施行に関する事。
 - 17 ダイオキシン類対策特別措置法（平成11年法律第105号）の施行に関する事。
 - 18 フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（平成13年法律第64号）の施行に関する事。
 - 19 特定工場における公害防止組織の整備に関する法律（昭和46年法律第107号）の施行に関する事。
 - 20 公害紛争処理法（昭和45年法律第108号）の施行に関する事。
 - 21 神奈川県生活環境の保全等に関する条例（平成9年神奈川県条例第35号）の施行に関する事。
 - 22 環境科学センターに関する事。

資源循環推進課

- 1 資源循環型社会づくりの総合的企画及び調整に関する事。
- 2 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）の施行に関する事。
- 3 神奈川県資源の循環的な利用等の推進、廃棄物の不適正処理の防止等に関する条例（平成18年神奈川県条例第67号）の施行に関する事。
- 4 容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（平成7年法律第112号）の施行に関する事。
- 5 特定家庭用機器再商品化法（平成10年法律第97号）の施行に関する事。
- 6 ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法（平成13年法律第65号）の施行に関する事。
- 7 使用済自動車の再資源化等に関する法律（平成14年法律第87号）の施行に関する事。
- 8 使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律（平成24年法律第57号）の施行に関する事。
- 9 下水道法（昭和33年法律第79号）第37条第3項及び第39条第2項に規定する事務に関する事。
- 10 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）の施行（他課の主管に属するものを除く。）に関する事。
- 11 環境美化活動の推進及び海岸漂着物等の処理に関する事。
- 12 かながわ環境整備センターに関する事。

緑政部

自然環境保全課

- 1 環境農政局緑政部内各課の総合調整に関すること。
- 2 緑化の推進（他課の主管に属するものを除く。）及び自然環境の保全に係る総合的企画及び調整に関すること。
- 3 自然公園及び長距離自然歩道に関すること。
- 4 古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法（昭和41年法律第1号）の施行に関すること。
- 5 首都圏近郊緑地保全法（昭和41年法律第101号）及び都市緑地法（昭和48年法律第72号）の施行に関すること。
- 6 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟に関すること。
- 7 神奈川県自然環境保全センターに関すること。

水源環境保全課

- 1 水源環境保全・再生事業に係る企画及び調整に関すること。
- 2 水源の森林づくり事業の推進及び総合調整に関すること。
- 3 水源環境保全・再生市町村事業に関すること。
- 4 保安林に関すること。
- 5 森林の病虫鳥獣害の防除、森林災害の予防に関すること。
- 6 民有林の林地開発の規制に関すること。
- 7 生活排水処理施設整備の推進に関すること。
- 8 森林づくり県民運動の推進及び調整に関すること。

森林再生課

- 1 森林計画及び森林の保護育成に関すること。
- 2 治山に関すること。
- 3 林道に関すること。
- 4 民有林の造林奨励及び樹苗養成に関すること。
- 5 林業技術の普及に関すること。
- 6 林産の振興に関すること。
- 7 林業・木材産業構造改革事業等の林業経営計画に関すること。
- 8 林業・木材産業改善資金及び恩賜記念林業振興資金に関すること。
- 9 入会林野の整備に関すること。
- 10 森林組合その他林業関係団体の指導監督に関すること（他室課の主管に属するものを除く。）。
- 11 県有林の経営、県行造林及び承継分収林に関すること。
- 12 林産物の安定供給に関すること。
- 13 県産木材の流通及び消費拡大に関すること。
- 14 全国育樹祭に関すること。
- 15 21世紀の森に関すること。

農水産部

農政課

- 1 環境農政局農水産部内各課の総合調整に関する事。
- 2 神奈川県都市農業推進条例（平成17年神奈川県条例第90号）の施行に関する事。
- 3 農業協同組合の指導監督に関する事（他室課の主管に属するものを除く。）。
- 4 農業保険に関する事。
- 5 農林水産物の流通及び消費拡大に関する事（他課の主管に属するものを除く。）。
- 6 卸売市場に関する事。
- 7 大船フラワーセンター及び花と緑のふれあいセンターに関する事。
- 8 横浜川崎地区農政事務所及び農業技術センターに関する事。

農業振興課

- 1 農産物の生産の指導及び奨励に関する事。
- 2 農産物の価格安定に関する事。
- 3 米穀等の取引等に係る情報の記録及び産地情報の伝達に関する法律（平成21年法律第26号）の施行に関する事。
- 4 農産物検査法（昭和26年法律第144号）の施行に関する事。
- 5 企業等の参入支援に関する事。
- 6 就農支援に関する事。
- 7 農業改良助長法（昭和23年法律第165号）の施行に関する事。
- 8 農林金融の調整及び農林資金に関する事（他課の主管に属するものを除く。）。
- 9 植物防疫に関する事。
- 10 農薬の取締り及び施肥の改善に関する事。
- 11 農用地の土壌の汚染防止及び改善に関する事。
- 12 農業機械化の促進に関する事。
- 13 かながわ農業アカデミーに関する事。

農地課

- 1 農地利用計画に関する事。
- 2 農業振興地域の整備に関する法律（昭和44年法律第58号）の施行に関する事。
- 3 農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）の施行に関する事。
- 4 農地中間管理事業の推進に関する法律（平成25年法律第101号）の施行に関する事。
- 5 市町村農業委員会との連絡調整に関する事。
- 6 農地法（昭和27年法律第229号）の施行に関する事。
- 7 民事調停法（昭和26年法律第222号）による農事調停に関する事。
- 8 土地改良法（昭和24年法律第195号）の施行に関する事。
- 9 農地の有効利用の促進に関する事。
- 10 神奈川県里地里山の保全、再生及び活用の促進に関する条例（平成19年神奈川県条例第61号）

の施行に関すること。

- 11 土地改良財産の管理に関すること。
- 12 農地及び農業用施設の災害復旧等に関すること。

畜産課

- 1 家畜の改良、増殖及び衛生に関すること。
- 2 養蜂の振興に関すること。
- 3 畜産製造に関すること。
- 4 牧野の改良、整備及び自給飼料に関すること。
- 5 流通飼料に関すること。
- 6 畜産経営の指導に関すること。
- 7 畜産関係団体の指導監督に関すること。
- 8 家畜商及び家畜取引に関すること。
- 9 獣医師及び家畜人工授精師に関すること。
- 10 動物用医薬品等に係る指導監督に関すること。
- 11 畜産技術センター及び家畜保健衛生所に関すること。

水産課

- 1 水産資源の管理及び保護育成に関すること。
- 2 漁業及び水産加工業等の振興に関すること。
- 3 漁業の調整及び取締り（指導及び処分に限る。）に関すること。
- 4 漁業権等の登録に関すること。
- 5 遊漁船業者の登録及び指導監督に関すること。
- 6 漁船の建造許可及び登録に関すること。
- 7 漁業資金の融資及び漁船保険に関すること。
- 8 漁業補償に関すること。
- 9 漁港の修築及び維持管理並びに漁港区域内の海岸保全に関すること。
- 10 漁港区域内に存する農林水産省の所管に属する国有財産（土地及び工作物に限る。）の管理に関すること。
- 11 水産業協同組合その他水産団体の指導監督に関すること（他室課の主管に属するものを除く。）。
- 12 水産技術センター及び漁港事務所に関すること。

4 職員配置

令和8年4月1日現在

所属名	職員数	所属名	職員数
総務室	41	農水産部	136 (3)
脱炭素戦略本部室	55	農政課	27
GREEN×EXPO推進本部室	81	農業振興課	22 (2)
環境部	79	農地課	28 (1)
環境課	36	畜産課	26
資源循環推進課	43	水産課	33
		本庁計	479 (4)
緑政部	87 (1)	/	
自然環境保全課	29		
水源環境保全課	24		
森林再生課	34 (1)		
環境科学センター	36 (2)	県央家畜保健衛生所	31 (4)
自然環境保全センター	64	湘南家畜保健衛生所	18 (1)
横浜川崎地区農政事務所	17	水産技術センター	76 (5)
農業技術センター	162 (9)	東部漁港事務所	15 (1)
かながわ農業アカデミー	23 (2)	西部漁港事務所	12 (1)
畜産技術センター	40 (4)	出先計	494 (29)
環境農政局計			973 (33)

備考

- 1 都道府県交流職員、市町村交流職員、兼務職員及び併任職員は除く
- 2 ()内は再任用職員で内数

Ⅱ 予算の概要

令和8年度当初予算総括表

(一般会計)

(単位：千円、%)

内 訳 科目	令和8年度 当初予算額 (案) A	令和7年度 当初予算額 B	対前年度比較		令和8年度の財源内訳				備 考
			増減額 A-B	比率 A/B	特 定 財 源			一般財源	
					国庫 支出金	県 債	その他		
(款) 環 境 費	19,104,135	18,134,961	969,174	105.3	720,574	2,647,000	5,332,645	10,403,916	
(項) 環境管理費	16,273,740	15,297,900	975,840	106.4	130,445	2,093,000	4,169,106	9,881,189	
(項) 環境保全 対策費	1,365,006	1,537,874	△ 172,868	88.8	252,881	104,000	955,998	52,127	
(項) 自然保護費	1,465,389	1,299,187	166,202	112.8	337,248	450,000	207,541	470,600	
(款) 農林水産業費	21,767,911	20,258,868	1,509,043	107.4	3,526,952	3,095,000	2,068,612	13,077,347	
(項) 農 業 費	5,619,513	3,805,179	1,814,334	147.7	385,409	36,000	821,849	4,376,255	
(項) 畜産業費	749,207	545,998	203,209	137.2	204,620	99,000	129,313	316,274	
(項) 農 地 費	2,424,045	2,416,843	7,202	100.3	1,149,344	580,000	342,582	352,119	
(項) 林 業 費	10,584,160	11,122,431	△ 538,271	95.2	972,812	1,690,000	527,905	7,393,443	
(項) 水産業費	2,390,986	2,368,417	22,569	101.0	814,767	690,000	246,963	639,256	
(款) 災害復旧費	520,000	520,000	0	100.0	250,000	234,000	—	36,000	
(項) 農林水産施 設災害復旧費	520,000	520,000	0	100.0	250,000	234,000	—	36,000	
小 計	41,392,046	38,913,829	2,478,217	106.4	4,497,526	5,976,000	7,401,257	23,517,263	
							35,867	△ 35,867	その他 特定収入
一般会計 計	41,392,046	38,913,829	2,478,217	106.4	4,497,526	5,976,000	7,437,124	23,481,396	

(特別会計)

恩賜記念林業振興 資金会計	143,333	143,155	178	100.1					
林業改善資金会計	46,975	78,212	△ 31,237	60.1					
水源環境保全・再 生事業会計	10,266,009	9,963,405	302,604	103.0					
沿岸漁業改善資金 会計	160,390	106,130	54,260	151.1					
特別会計 計	10,616,707	10,290,902	325,805	103.2					

環境農政局合計	52,008,753	49,204,731	2,804,022	105.7					
---------	------------	------------	-----------	-------	--	--	--	--	--

Ⅲ 事業の概要

令和8年度主要事業の概要

◎印は、令和8年度新規事業です。

丸数字は、事業の対象区域を示すものです。

- ① 全市町村、② 政令市を除く市町村、
- ③ 政令市・中核市を除く市町村、④ 特定市町村、
- ⑤ その他

脱炭素社会の実現に向けた取組

1 産業・業務部門の取組

- | | |
|--|-----------|
| (1) 中小企業脱炭素相談支援事業費補助 ◎ | 32,359千円 |
| 公益財団法人神奈川産業振興センターが行う脱炭素に係る相談窓口の設置や出張相談等に対して補助する。 | |
| (2) 中小企業CO ₂ 排出量管理システム導入支援事業費 ◎ | 34,234千円 |
| 中小企業によるCO ₂ 排出量の把握と脱炭素化を促進するため、CO ₂ 排出量管理システムを導入する中小企業を支援する。 | |
| (3) 中小企業省エネルギー診断支援事業費 ◎ | 40,000千円 |
| 中小企業の省エネルギー対策を促進するため、省エネルギー診断を行う中小企業を支援する。 | |
| (4) 太陽光発電設備導入提案事業費 ◎ | 40,054千円 |
| 事業者の太陽光発電の導入を促進するため、潜在的に関心のある事業者を掘り起こし、設置場所や費用等の具体的な提案を行う。 | |
| (5) 中小企業省エネルギー設備導入費等補助 ◎ | 375,000千円 |
| 中小企業の省エネルギー対策を促進するため、中小企業による省エネルギー設備の導入等に対して補助する。 | |
| (6) 自家消費型再生可能エネルギー導入費補助 ◎ | 993,000千円 |
| 事業所への再生可能エネルギー・蓄電池の更なる導入拡大を図るため、自家消費型の再生可能エネルギー・蓄電池の導入に対して補助する。 | |
| (7) VPP形成促進事業費補助 ◎ | 22,000千円 |
| 太陽光発電や蓄電池、EV等を高度なエネルギー・マネジメント技術で制御し、あた | |

かも一つの発電所のように機能させることで、電力の需給バランスを保つ調整力として活用するバーチャル・パワー・プラント（VPP）を形成する事業に対して補助する。

2 家庭部門の取組

- (1) かながわ脱炭素アクション創出事業費 ① 50,000千円
脱炭素の自分事化に向けて、事業者が付与する既存のポイントに上乗せしてポイントを付与し、脱炭素に資する商品の購入を促す「かながわCO₂CO₂（コツコツ）ポイント」事業を実施する。
- (2) 地域脱炭素普及啓発事業費 ① 12,500千円
地域の脱炭素化に向けた意識の醸成を図るため、市町村等と連携しながら、若年者も含めた幅広い世代の住民が参加するワークショップを実施する。
- (3) 住宅用太陽光発電・蓄電池導入費補助 ① 430,000千円
住宅への太陽光発電・蓄電池の更なる導入拡大を図るため、太陽光発電と蓄電池を併せた導入に対する補助を拡充する。
- (4) ZEH導入費補助 ① 90,000千円
住宅の脱炭素化を促進するため、中小工務店が施工するネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）の導入に対する補助を拡充する。
- (5) 既存住宅省エネ改修事業費補助 ① 60,000千円
住宅の省エネ化を促進するため、既存住宅の省エネ改修に対して補助する。
- (6) 太陽光発電初期費用ゼロ促進事業費補助 ① 127,000千円
住宅への太陽光発電・蓄電池の更なる導入拡大を図るため、初期費用ゼロで住宅に太陽光発電・蓄電池を導入する事業（住宅用0円ソーラー）に対して補助する。

3 運輸部門の取組

- 一部④(1) 事業用等EV導入費補助 ① 1,000,000千円
走行時にCO₂を排出しない電気自動車（EV）の普及を促進するため、事業用等EV（バス、タクシー、トラック及びレンタカー等に限る）の導入に対して補助する。また、GREEN×EXPO 2027において来場者の移動を円滑にするとともに、GREEN×EXPO 2027を契機としてEVバスの普及を加速化させるため、EVバスの導入に対する補助を拡充する。

- (2) EV充電設備整備費補助 ① 155,000千円
EVの普及に不可欠な充電環境の整備を促進するため、公共用等の急速充電設備や共同住宅等の普通充電設備の整備に対して補助する。

- 一部⑧(3) FCV導入費等補助 ① 247,000千円
走行時にCO₂を排出しない燃料電池自動車（FCV）の普及を促進するため、FCV等の導入に対して補助する。また、国の「燃料電池商用車の導入促進に関する重点地域」に選定されたことを受け、新たにFCバスの導入等に対して補助するとともに、FCトラックの導入等に対する補助を拡充する。

- 一部⑧(4) 水素ステーション整備費等補助 ① 122,000千円
FCVの普及に不可欠な水素ステーションの整備を促進するため、定置式水素ステーションの整備に対して補助するとともに、国の「燃料電池商用車の導入促進に関する重点地域」に選定されたことを受け、商用FCV対応水素ステーションの運営に対する補助を拡充する。

4 その他ガス対策

- (1) 畜産業脱炭素推進事業費 ① 17,000千円
牛の消化器から発生するメタンガス等を抑制するため、未利用海藻等を飼料として利用する技術の検証等を行う。

5 吸収源対策

- (1) 脱炭素社会実現「まちなもり」創出事業費補助 ① 43,500千円
木造施設の建築等により抑制される炭素排出量及び使用する木材に固定（吸収）されている炭素量の価値に対して補助する。この取組を通じて、県民への木材利用の普及啓発を行う。

- (2) 磯焼け対策事業費 ① 18,496千円
培養施設で大量に生産した早熟カジメ^{※1}等の種苗を、中間育成施設で成熟するまで育ててから、漁業者や市民団体等と連携して海底に移植することで、藻場の再生を加速化させ、磯焼け^{※2}した漁場の回復を図るとともに、ブルーカーボンによるCO₂吸収効果の増大にもつなげる。

※1 海藻の一種であるカジメのうち成熟が早いもの。

※2 海藻が魚などに食べつくされ藻場が消失する現象。

- (3) ブルーカーボンクレジット化促進事業費 ① 19,574千円
漁業協同組合など、藻場再生の担い手による自立的かつ継続的な取組を可能にするため、ブルーカーボンクレジットの申請に向けて伴走支援等を行う。

6 横断的な取組

- 一部⑨ (1) 次世代型太陽電池普及促進事業費補助 ① 60,074千円
ペロブスカイト太陽電池等の次世代型太陽電池の早期普及を図るため、これまで設置が困難であった工場や倉庫など県の地域特性を活かし、民間施設における実証に対して補助する。

7 県庁の率先実行（予算額には他局計上分を含む）

- (1) 県有施設の照明のLED化 ① 10,739,824千円
県有施設の照明を2027年度までに原則LED化するため、重点的に整備を行う。

- 一部⑩ (2) 県有施設への太陽光発電等の導入 ① 2,497,052千円
設置可能な県有施設において、2030年度までに50%、2040年度までに100%の導入を図るため、境川遊水地公園（藤沢市今田）等に太陽光発電等を設置するとともに、新たに、PPA（電力購入契約）による導入に向けて取り組む。加えて、限定的に供給されるペロブスカイト太陽電池を県有施設に先行的に設置する。

- (3) 県有施設の再生可能エネルギー電力の利用 ① 一千円*
2030年度までに全県有施設の使用電力を100%再生可能エネルギー化するため、再生可能エネルギー電力を調達する。
※ 各局の維持運営費に計上しているため、「一千円」としている。

- (4) 公用車の電動化 ① 566,485千円
代替可能な車両がない場合を除き、公用車を2028年度までに全て電動化（EV、FCV、PHV、HV）するため、182台を電動化する。

循環型社会づくりの推進

1 資源循環の推進

- (1) 廃棄物総合対策推進事業費 ① 22,391千円
事業者の3R（リデュース：排出抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生利用）に向けた取組を支援するため、多量排出事業者等が提出する報告書の集計・分析結果や取組事例等を情報提供するほか、3Rに関する普及啓発等を実施する。

(2) 循環型社会づくり推進事業費 ① 2,167千円
循環型社会づくり計画の目標の達成に向け、施策の柱である「資源循環の推進」及び「適正処理の推進」を図るため、食品廃棄物の削減や資源循環の推進に係る普及啓発等を実施する。

⑧ (3) 食べ残し食品持ち帰り促進事業費 ① 3,500千円
飲食店において、どうしても食べきれず食べ残してしまった食品の持ち帰りを促進するため、持ち帰り用の容器（ドギーバック）を作成・配布する。

⑨ (4) リチウムイオン電池等の適切な分別に向けた普及啓発事業費 ① 2,500千円
次世代を担う立場にある高校生などを対象に、リチウムイオン電池及びリチウムイオン電池を使った製品の適切な分別に関する周知啓発を、SNS動画広告を活用して実施する。

(5) 次期ごみ処理長期広域化・集約化計画策定事業費 ① 16,054千円
ごみ処理について、将来にわたり持続可能な適正処理を確保し、同時に脱炭素化も推進していくため、「長期広域化・集約化計画」を策定する。

(6) プラスチックごみ削減推進事業費 ① 6,441千円
「かながわプラごみゼロ宣言」に基づき、2030年までのできるだけ早期に、リサイクルされずに廃棄されるプラスチックごみゼロを目指すため、プラスチック使用製品の使用の合理化の促進、クリーン活動の拡大等に係る取組を行う。

一部⑩ (7) プラスチック等資源循環普及啓発推進費 ① 29,353千円
ライフサイクル全体での徹底的な資源循環を推進し2050年脱炭素社会実現に貢献するため、外部イベントへの出展企画・運営等の委託に加え、新たに「ベトナムフェスタin 神奈川」におけるリユース食器導入、県内の大学等の学生団体等を対象にしたプラごみ削減の取組への支援を実施し、プラスチック資源循環に係る普及啓発を一層推進する。

2 適正処理の推進

一部⑪ (1) 海岸漂着物等対策事業費 ①・④ 322,997千円
海岸の良好な景観や環境を保全するため、公益財団法人かながわ海岸美化財団が実施する海岸清掃事業費を負担し、相模湾沿岸13市町の海岸清掃事業費を補助するとともに、新たに海や河川等からプラスチックごみを回収する技術について、実証実験を実施する。

- (2) 産業廃棄物最終処分場費 ① 560,225千円
産業廃棄物の適正処理を推進するため、安全性のモデルとして設置されたかながわ環境整備センター（横須賀市芦名）の運営を行う。

- (3) ポリ塩化ビフェニル廃棄物等適正処理推進事業費 ③ 1,452千円
P C B廃棄物の適正処理を推進するため、低濃度P C B廃棄物の保管事業者等に対して届出及び処分期間内の計画的な処理を指導する。

生活環境の保全

1 大気水質保全の取組

- (1) 大気汚染監視用機器更新費 ④ 47,849千円
県民の健康の保護と生活環境の保全のため、大気汚染防止法に基づき、PM2.5など大気中の汚染物質を常時監視するための測定機器を計画的に更新する。

- (2) 水質常時監視費 ④ 58,102千円
河川・湖沼等の公共用水域及び地下水における水質汚濁等の状況を適正に把握するため、水質汚濁防止法に基づき、公共用水域及び地下水のモニタリング調査を行う。また、地下水における有機フッ素化合物（P F A S）の実態把握を進める。

- 一部④(3) 代替フロン排出抑制対策事業費 ① 25,938千円
代替フロンの排出を抑制するため、業務用冷凍空調機器を使用する管理者、充填回収業者及び解体現場関係者等を対象に普及啓発を行ってきたが、加えて、代替フロンの地球温暖化への影響等について認知度を高めるため、広く県民を対象に普及啓発を行う。

- ④(4) P F A S対策推進事業費 ④ 17,380千円
人の健康等に影響を及ぼす可能性が指摘されているP F O S等による広域的な水環境汚染の未然防止を図るため、P F O S等を含有する泡消火薬剤について、県内全域における所在、在庫量等を正確に把握し、当該泡消火薬剤所有者に対する普及啓発を行う。

2 自動車交通環境対策の推進

- (1) 自動車排出NO_x・PM総量削減対策推進事業費 ① 11,317千円
自動車NO_x・PM法に基づく総量削減計画の進捗状況調査を実施するとともに、総量削減計画の目標を達成するため、生活環境の保全等に関する条例に基づく旧式ディーゼル自動車の運行規制等に係る指導・取締り及び規制内容の周知を行う。

3 化学物質の環境影響低減化の推進

- (1) 化学物質環境調査事業費 ② 3,302千円
化学物質による汚染の実態を把握して環境影響の評価を行うため、調査を実施するとともに、測定方法の検証や分析方法の開発等を行う。
- (2) ダイオキシン対策推進事業費 ③ 10,372千円
ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、大気、公共用水域・土壌・地下水の環境汚染状況を把握するためのモニタリング調査を行う。

4 アスベスト対策の推進

- (1) 災害時等アスベスト飛散防止対策推進事業費 ④ 2,840千円
大規模災害時のアスベストの飛散を防止するため、大気汚染防止法等に基づき、平常時から建築物の所有者等によるアスベスト含有建材の使用の有無の把握調査を促進する取組を行う。

5 水環境保全対策の推進

- (1) 流域環境保全行動推進事業費 ① 2,260千円
上流域を含めた相模川や酒匂川の流域環境を保全するため、市民、事業者、行政が一体となった取組を推進する。

6 地下水保全対策の推進

- 一部④ (1) 地下水・土壌保全対策推進費 ④ 12,862千円
県民の健康の保護と生活環境の保全のため、水質汚濁防止法、土壌汚染対策法及び生活環境の保全等に関する条例に基づき、地下水及び土壌の汚染への迅速な対応と効果的な浄化対策指導、地盤沈下対策等を行う。また、令和7年度に実施した衛星データを活用した調査結果を踏まえ、新たに地盤沈下対策の検討を行う。

7 地球規模環境問題対策の推進

- (1) (公財)地球環境戦略研究機関補助 ① 86,455千円
地球規模の持続可能な開発を実現していくために必要な環境にかかる政策的・実践的な研究を行う公益財団法人地球環境戦略研究機関に対して、誘致自治体として運営費を補助する。

8 環境に配慮した活動の推進

- (1) 環境影響評価条例運営費 ① 4,812千円

環境影響評価法及び環境影響評価条例に基づき、一定規模以上の事業について、環境影響評価のための審査を行う。

9 総合的な環境学習・教育の推進

(1) 環境学習推進事業費 ① 2,420千円

環境学習を推進するため、環境問題についての知識や経験を有する企業やNPO等の専門家を学校に派遣する。

④ (2) 環境教育推進事業費 ① 7,400千円

環境教育の推進に向けて、若者世代に環境問題への関心を深めてもらうため、高校生による環境活動の取組発表や意見交換等を中心としたイベントを開催する。

(3) 環境学習機能充実強化事業費 ① 16,965千円

環境学習を推進するため、環境科学センターにおける環境学習機能の充実強化に必要な基盤を整備するとともに、環境保全に係る県民活動の支援や将来の活動実践者の育成を行う。

自然環境の保全・再生と活用

1 地域の特性を生かした多彩な森林づくり

(1) 造林事業費 ① 116,165千円

森林資源の充実や県土保全など、森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、民有林の適正な整備に対して補助する。

(2) 治山事業費 ④ 1,205,403千円

山地災害の防止、水源かん養機能の向上、生活環境の保全を図るため、荒廃地の復旧、山地災害危険地区の保全を行うとともに、既存の治山施設の補修を行う。

<実施地区>相模原市緑区川尻（竜籠）ほか31箇所

(3) 保安林改良事業費 ① 124,556千円

自然災害等により水源かん養等の機能が低下した保安林において、機能の回復、高度発揮を図るため、森林整備を実施する。

<実施地区>清川村煤ヶ谷ほか5箇所

(4) 松くい虫等防除事業費 ① 14,943千円

松くい虫による松枯れ被害及びカシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害を防除するため、樹幹への薬剤注入や被害木の駆除による防除事業を実施する市町村に対して補

助する。

2 水源の森林づくりの推進

- (1) 水源の森林づくり事業費 ④ 2,502,164千円
水源かん養など森林の持つ公益的機能の向上を図り、良質な水を安定的に確保するため、水源の森林エリア内の私有林の公的管理・支援を推進する。
- (2) 水源林土壌保全対策事業費 ④ 751,004千円
森林の土壌保全を図るため、県内水源保全地域内において、崩壊地の拡大等を防止する土木的工法も採り入れた対策に取り組むとともに、土壌流出が懸念される森林において、筋工や植生保護柵等を組み合わせた対策を推進する。
- (3) 県民参加森林づくり活動事業費 ① 77,168千円
県民との協働による森林づくり活動を推進するため、森林づくり県民運動の普及啓発等を行う公益財団法人かながわトラストみどり財団に対して補助する。

3 水源環境保全・再生を支える取組の推進

- (1) 市町村事業推進費 ④ 2,284,800千円
相模原市ほか16市町村が主体的に実施する水源環境保全・再生の取組の着実な推進を図るため、当該市町村が計画的に実施する事業に対して補助する。
- (2) 相模川水系県外上流域対策費 ⑤ 51,215千円
相模川水系の県外上流域における水源環境の保全・再生を図るため、山梨県と共同して、森林整備及び生活排水対策の取組を実施する。
- (3) 県民会議等運営費 ① 55,960千円
県民参加のもとで水源環境保全・再生施策を推進するため、水源環境保全・再生かながわ県民会議の運営や施策の普及啓発等を行うとともに、市民団体やNPO等が実施する水源環境保全活動に対して補助する。

4 丹沢大山の自然再生

- (1) 自然公園施設整備費 ④ 481,872千円
富士箱根伊豆国立公園（箱根地域）や丹沢大山国定公園等の自然環境の保全及び公園利用者の安全性・快適性の向上を図るため、登山道や利用者用トイレなどの自然公園施設を整備する。

(2) 丹沢大山保全・再生対策事業費 ④ 301,951千円
丹沢大山において、ブナ林等の再生の取組や、登山道補修等の県民協働事業を実施するとともに、丹沢大山及び周辺地域の植生回復と衰退防止を図るため、中高標高域におけるシカ管理捕獲を実施する。

(3) かながわパークレンジャー活動等普及啓発推進事業費 ④ 1,719千円
かながわパークレンジャーを中心に県民による自然環境保全活動を推進するとともに、自然公園指導員等の活動と連携し、自然公園の適正利用を促進する。

(4) 大涌谷自然研究路利用推進費 ④ 7,258千円
令和4年3月に再開した大涌谷自然研究路について、安全対策として実施する引率入場に必要の監視員を配置し、利用者の安全確保を図る。

5 都市の緑地の保全と活用

(1) 古都及び緑地保全事業費（公共事業） ④ 200,000千円
鎌倉などの古都における歴史的風土を保存するとともに都市近郊の緑地を保全し、良質な都市環境の形成を図るため、緑地の保全に必要な施設の整備等を実施する。

(2) 県有緑地等緊急防災対策事業費（単独事業） ④ 143,912千円
県有緑地における災害等を未然に防止するため、法面防災工事等を実施する。

(3) 小網代の森施設整備費 ④ 3,300千円
県内に残る貴重な自然である「小網代の森」（三浦市三崎町小網代）を利用する県民の利便性の向上及び安全性確保のため、適正な維持管理を行う。

(4) 小網代の森維持管理費 ④ 15,690千円
環境学習の場である「小網代の森」の適正な維持管理を行う。

(5) 地域制緑地維持管理費 ④ 22,087千円
特別緑地保全地区等の県有緑地において、適正な維持管理を行う。

(6) 古都緑地維持管理費 ④ 36,452千円
歴史的風土特別保存地区内の県有緑地において、適正な維持管理を行う。

(7) 自然環境保全対策事業費 ① 12,717千円
自然環境保全地域特別地区の保全を図り、自然保護思想を普及啓発することに加え、

良好な自然環境の維持・保全の一助とするため、希少種であるツキノワグマの生息状況を把握する。

- (8) 生物多様性保全基盤整備事業推進費（一部） ① 6,076千円
アドバイザーを派遣するなど県民や事業者等が生物多様性を理解し、生物多様性に配慮した行動や保全のための行動をとることを促進する取組を行う。
- (9) 神奈川県レッドデータブック更新事業費 ① 5,208千円
生物多様性の保全のため、県内希少生物の生息・生育状況を調査し、絶滅の危険度を評価したレッドデータブックの計画的・継続的な更新を行う。

6 里地里山の保全・活用

- 一部④(1) 里地里山保全等促進事業費 ④ 22,638千円
里地里山の保全等を促進するため、里地里山活動協定の認定を受けた団体が行う里地里山の保全等の活動に対して補助するとともに、多様な人材の継続的な参画に向けた、活動団体と大学や企業及び都市住民等とのマッチング等を実施する。また、新たに地域資源を活用した体験ツアーや販売促進など収益力向上の支援をする。

7 野生鳥獣の保護管理の推進

- 一部④(1) 地域ぐるみ鳥獣被害対策推進費 ① 30,050千円
地域ぐるみの鳥獣被害対策※を広げるため、かながわ鳥獣被害対策支援センター（平塚市中里）による人材育成、技術支援や効果検証等の支援を行う。また、ツキノワグマ等大型獣の市街地出没対策を強化し、新たに緊急銃猟実施訓練事業を実施する。
※ 集落環境整備、防護対策及び捕獲の3つの基本対策を地域が一体となって実施
- (2) 鳥獣被害対策事業費補助（団体） ④ 1,199千円
野生鳥獣による被害対策等の効果的な実施を図るため、市町村等で構成する団体が行う捕獲等の取組に対して補助する。＜市町村への補助は、政策局自治振興部市町村課の「市町村事業推進交付金」において計上＞
- (3) 鳥獣被害防止特別措置事業費補助（団体） ④ 85,123千円
市町村や農業協同組合等で構成する地域協議会が被害防止計画に基づいて行う鳥獣被害対策を支援するため、侵入防止柵の整備や捕獲などの取組に対して補助する。
- (4) 鳥獣被害防止特別措置事業費 ④ 5,851千円
農業被害防止対策等に活用するため、ニホンザルの行動分析等を実施する。

- (5) 特定鳥獣（シカ・サル）保護管理事業費 ④ 24,970千円
ニホンジカ管理計画及びニホンザル管理計画に基づき、丹沢大山の自然植生回復のためのシカ管理捕獲やシカ・サルの生息状況調査等を実施する。
- (6) 指定管理鳥獣捕獲等事業費 ④ 7,784千円
イノシシ管理計画に基づく捕獲等の取組を実施するとともに、人の日常生活圏にクマ類・イノシシが出没した場合に、地域住民の安全確保の下で市町村が緊急銃猟を行う場合等に補助する。
- (7) ヤマビル被害対策事業費補助（市町村） ④ 2,038千円
深刻化するヤマビル被害に対応するため、市町村が地域ぐるみで実施する環境整備活動等のヤマビル対策に対して補助する。
- (8) 特定外来生物対策事業（生物多様性保全基盤整備事業推進費で計上） ① 2,849千円
特定外来生物であるアライグマやクリハラリスの捕獲に向け、生息分布を把握するためのモニタリング調査を実施する。

持続可能な農林水産業の実現

1 農業の振興

- (1) スマート農業推進事業費補助 ① 19,600千円
農業生産の省力化・効率化を推進し、生産性を向上させるため、産地が一体的なスマート技術を導入する取組や、農業者が自動の小型農業機械等を導入する取組に対して補助する。
- (2) 脱炭素・低コスト農業技術確立等推進事業費 ① 2,340千円
化石燃料を使用しない施設栽培への転換を促進し、環境にやさしい持続可能な農業を実現するため、脱炭素・低コスト生産技術を確立するとともに、CO₂排出削減効果が見える化し、環境に配慮した農産物の消費者購買意向を明らかにする。
- (3) AI農業調査研究システム化事業費 ① 5,477千円
短期間での技術継承、産地の維持発展のため、匠の技の見える化や指導・学習システムの構築を行う。

- 一部④ (4) 横浜農業合同庁舎整備費 ④ 43,915千円
老朽化した横浜農業合同庁舎を建替えるため、設計施工一括発注方式（デザインビルド）による再整備を行う。また、新たに入庁所属の仮移転先整備等を行う。
- (5) かながわ農業アカデミー脱炭素教育設備等整備費 ① 54,600千円
農業分野の脱炭素化を推進するため、かながわ農業アカデミー（海老名市杉久保北）において、太陽光などの再生可能エネルギーを活用した脱炭素農業モデルによる授業などを行うための設備等を整備する。
- (6) 県産品ブランド推進事業諸費 ① 5,881千円
県産農林水産品のブランド力を強化するため、「かながわブランド」やそのサポート店を登録するとともに、県産農林水産品の販売促進等を行う協議会に対して負担金を支出する。
- (7) かながわブランドPR事業費 ① 15,000千円
「かながわブランド」の広報を強化するため、「プッシュ型」広告を活用して主要駅などでPRを行う。
- (8) かながわブランド生産支援事業費補助 ① 16,000千円
時代や環境に応じた「かながわブランド」の生産供給体制の確立を支援するため、生産力向上につながる機械・機器導入の補助を行う。
- (9) EC販売支援事業費 ① 5,500千円
インターネット販売の活用による「かながわブランド」等の販路拡大を支援するため、新たな販路・顧客の獲得に向けて、ECサイトで物産展「神奈川県フェア」を開催する。
- 一部④ (10) 花と緑のふれあいセンター費 ① 328,137千円
花と緑のふれあいセンター〈花菜ガーデン〉（平塚市寺田縄）の適切な管理運営を図るため、施設整備や維持管理等に係る費用をPFI事業者に対して支払う。また、令和12年3月の契約終了に向け、新たに事業評価及び次期事業手法の検討を行う。
- (11) 大船フラワーセンター指定管理費 ① 106,755千円
大船フラワーセンター（鎌倉市岡本）の適切な管理運営を図るため、施設の維持管理等に係る費用を指定管理者に対して支払う。
- (12) 農業改良普及活動費 ① 8,054千円
地域農業の振興を図るため、普及指導員が農業者ニーズに対応した研修や巡回指

導などの普及活動を総合的に行う。

- (13) 農業担い手育成事業費 ① 3,389千円
新規就農者の確保と本県農業の将来を担う人材の育成のため、技術支援や経営改善指導等を実施するとともに、経営発展段階の農業者に対する研修等を行う。

- (14) 新規就農者経営発展支援事業費補助 ① 48,750千円
次世代を担う農業者を育成するため、新規就農者に対し、経営発展のための機械・施設等の導入を補助する。

- (15) トップ経営体育成事業費補助 ① 12,000千円
「トップ経営体」*を育成するため、意欲ある若手生産者を対象に、経営能力の開発・向上を目的に実施する「かながわ農業版MBA研修」の修了者が規模拡大に向けて行う施設整備等に対して補助する。
※ 優れた経営感覚を有する、年間販売額3,000万円以上の経営体

- 一部④(16) 農福連携推進事業費 ① 5,460千円
農業労働力の確保による持続可能な都市農業を振興するため、農業者が農福連携を学ぶ取組の支援や指導者の育成、生産された農産物の販売支援を行う。また、新たに、農福連携に取り組む農業経営体に対し、環境整備に係る経費に対して補助する。

- (17) 農業経営新規アイデア実現支援事業費補助 ① 30,280千円
経営のステップアップを目指す農業者を対象に、高品質化・生産性向上・販売先開拓等につながる農業者自らの新規アイデアの導入や施設等の整備に対して補助する。

- (18) 農道整備事業費（公共事業） ④ 764,000千円
農作物の集出荷作業の省力化や流通の改善等と、高潮等で緊急通行路である国道135号の代替路線として機能する広域農道の整備を行う。
<実施地区>広域農道小田原湯河原線（小田原市、真鶴町、湯河原町）ほか1地区

- (19) 農道整備事業費補助（公共事業） ④ 27,312千円
過去に国庫補助事業で建設された農道施設について、市町村が行う点検診断、保全対策等に対して補助する。
<実施地区>南足柄地区（南足柄市）ほか1地区

- (20) 県営かんがい排水事業費（公共事業） ④ 87,700千円
農業用水の安定的確保と用水管理の円滑化を図り、生産性の向上と農業経営の安定に資するため、幹線用水路を整備する。
＜実施地区＞相模川右岸2期地区（厚木市、伊勢原市）
- (21) 農村振興総合整備事業費（公共事業） ④ 98,000千円
かんがい施設や農道等の農村地域の振興に必要な施設整備を総合的に行う。
＜実施地区＞諸磯小網代地区（三浦市）ほか2地区
- (22) 農村振興総合整備事業費補助（公共事業） ④ 138,880千円
水路や農道等の農村地域の振興に必要な施設を地域の実情に合わせて総合的に整備する市町村（農業振興地域整備計画を定めている市町村に限る）に対して補助する。
＜実施地区＞上瀬谷地区（横浜市）ほか2地区
- (23) 農業水利施設予防保全事業費（公共事業） ④ 107,200千円
農業水利施設におけるライフサイクルコストの低減を図るため、構造物の劣化度等を診断し、最適な保全対策を実施する。
＜実施地区＞清水下地区（相模原市）ほか2地区
- (24) 農地保全事業費（公共事業） ④ 14,960千円
降雨により、急傾斜な樹園地帯が受ける侵食や崩壊を防止するため、排水路や水路兼用農道等を整備する。
＜実施地区＞曾我谷津地区（小田原市）ほか1地区
- (25) 農業用施設防災対策事業費（公共事業） ④ 174,000千円
豪雨・地震などの影響により、農業用施設が周辺地域へ被害を及ぼすことを未然に防止するため、用排水路等の整備・補強を行う。
＜実施地区＞大城地区（平塚市、伊勢原市）ほか1地区
- (26) 農業用施設防災対策事業費補助（公共事業） ④ 104,241千円
豪雨・地震などの影響により、農業用施設が周辺地域へ被害を及ぼすことを未然に防止し、避難経路を確保するなどの農村地域における防災力向上を図るため、市町村が行う用排水路等や農道（橋梁を含む）の整備・補強に対して補助する。
＜実施地区＞根府川地区（小田原市）ほか4地区

- (27) 湛水防除事業費（公共事業） ④ 137,100千円
豪雨の影響により、農業用排水路からの溢水が周辺地域へ被害を及ぼすことを未然に防止するため、水路の排水能力向上を目的とした整備を行う。
＜実施地区＞鬼柳地区（小田原市、大井町）

- 一部⑧ (28) 里地里山保全等促進事業費（再掲） ④ 22,638千円
里地里山の保全等を促進するため、里地里山活動協定の認定を受けた団体が行う里地里山の保全等の活動に対して補助するとともに、多様な人材の継続的な参画に向けた、活動団体と大学や企業及び都市住民等とのマッチング等を実施する。また、新たに地域資源を活用した体験ツアーや販売促進など収益力向上の支援をする。

- (29) かながわホームファーマー・農業サポーター事業費 ④ 15,254千円
農地の有効活用を図るため、耕作放棄地を借り受けて復旧し、野菜や柑橘類の栽培研修付き農園を開設する。また、一定の栽培技術と意欲のある都市住民をかながわ農業サポーターとして認定し、サポーターが耕作する農地の復旧や貸借の支援を行う。

- (30) 農地集積推進事業費補助 ④ 9,547千円
担い手への農地集積を図り、農業の経営規模の拡大、農地利用の効率化を促進するため、農地の中間的受け皿となる農地中間管理機構が実施する農地売買事業における経費に対して補助する。

- (31) 農地中間管理機構事業推進費補助 ④ 78,401千円
担い手への農地集積を図り、農業の経営規模の拡大、農地利用の効率化を促進するため、農地中間管理機構が実施する農地中間管理事業における経費に対して補助する。

- (32) 機構集積協力金補助（国庫） ④ 2,300千円
担い手への農地集積・集約化を促進するため、農地中間管理機構に農地を貸し出した、一定の要件を満たす地域へ協力金を交付する市町村に対して補助する。
また、農地中間管理機構等が実施する遊休農地解消対策事業における経費に対して補助する。

- (33) 小規模農地基盤整備事業費 ④ 28,900千円
小規模な農地の集積を促進するため、担い手の営農条件改善に資する生産基盤整備

の実施と合わせて、農地の流動化に向けた担い手と所有者のマッチングに係る総合調整等を実施する。

- 一部④ (34) 企業等大規模参入促進事業費 ④ 2,000 千円
企業等を担い手として呼び込むため、畑地での生産基盤整備に加え、新たに荒廃化が進む樹園地において、企業等への農業参入意向調査等を行う。

2 畜産業の振興

- (1) かながわ酪農活性化対策事業費 ① 5,991 千円
酪農の活性化を図るため、酪農関係団体と連携し、生産能力の高い優れた乳牛の増産技術を活用した生産基盤の強化に取り組むとともに、若者の県内酪農業への就職を促進するため、県内高校生等の牧場における実践的研修に対するフォローアップを行う。
- (2) かながわ畜産物販売戦略強化事業費 ① 7,509 千円
県産畜産物の評価を高め販路拡大につなげるため、県と生産者団体で構成する協議会において、認知度向上に資する情報発信力の強化に取り組み、県産畜産物の出口戦略を推進する。
- (3) 家畜伝染病予防事業費 ① 23,840 千円
ヨーネ病等の家畜伝染病の発生予防及びまん延防止のため、検査・指導及び防疫措置等を実施する。
- (4) 特定家畜伝染病対策事業費 ① 132,954 千円
家畜伝染病のうち、発生時に大きな影響を及ぼす特定家畜伝染病（豚熱、口蹄疫、鳥インフルエンザ等）について、農場の飼養衛生管理の強化等により、県内における発生予防を図るとともに、万が一発生した際に備えた体制の充実・強化を行う。
- (5) 元大野山乳牛育成牧場牧道整備工事費 ④ 110,022 千円
牧道を県営林道に移管するにあたり、利用者が安全に利用し、県が確実に管理するため、安全施設等の設置について確定した規格に基づき工事を実施する。
- (6) 国産飼料確保利用調整事業費 ① 2,400 千円
水田を活用した飼料用米等の飼料確保の取組に対し、支援を行う。
- (7) 畜産業脱炭素推進事業費（再掲） ① 17,000 千円
牛の消化器から発生するメタンガス等を抑制するため、未利用海藻等を飼料として利

用する技術の検証等を行う。

- (8) 耕畜連携堆肥利用推進事業費 ① 4,190千円
畜産農家の堆肥流通停滞や耕種農家の畑等における地力低下を解消するため、畜産農家における良質堆肥生産態勢の構築やモデル地域における堆肥散布機等の整備を支援する。
- (9) 耕畜連携飼料生産利用推進事業費 ① 2,600千円
耕種農家が飼料作物を生産し、畜産農家に供給する体制を構築するため、耕種農家によるとうもろこしの栽培と畜産農家によるとうもろこしの飼料調製を支援する。
- (10) 耕畜連携農産物供給推進事業費 ① 4,990千円
耕畜連携により生産された農産物の高付加価値化に向けて、耕畜連携の取組にかかる連携条件の検討、消費者への地域循環による農産物生産の理解醸成を行う。

3 林業の振興

- (1) スマート林業導入支援事業費補助 ① 5,694千円
森林資源情報のデジタル化、林業の生産性や安全性の向上を図るため、ICT機器や自動化・自走化機械等のスマート林業技術の導入に対し補助する。また、林業従事者を対象としたドローン森林測量講習を実施する。
- (2) 高性能林業機械等導入支援事業費補助 ① 6,660千円
木材生産性の向上及び労働災害の軽減、森林資源の循環利用加速化による炭素固定増を図るため、木材生産に積極的に取り組む林業事業体の高性能林業機械等の導入に対して補助する。
- (3) 脱炭素社会実現「まちのもり」創出事業費補助（再掲） ① 43,500千円
木造施設の建築等により抑制される炭素排出量及び使用する木材に固定（吸収）されている炭素量の価値に対して補助する。この取組を通じて、県民への木材利用の普及啓発を行う。
- (4) エリートツリー研究開発事業費 ① 4,433千円
中長期的な森林吸収量の確保と花粉発生源対策のため、本県で生産している無花粉スギから特に成長に優れた品種を「本県独自のエリートツリー」として選抜し、挿し木苗生産をするために採穂園を整備する。

- (5) **かながわ森林塾推進事業費** ① 92,159千円
 林業の労働力確保や就業者の育成を図るため、かながわ森林塾において新規就業希望者及び中堅・上級技術者を対象とした研修を実施する。
- (6) **間伐材搬出促進事業費** ④ 308,220千円
 間伐材の有効活用の促進を図るため、間伐材の集材・搬出や神奈川県森林組合連合会が行う原木の安定流通等を確保する取組への補助等を実施する。
- (7) **森林環境譲与税基金活用事業費（3(3)の再掲を含む）** ① 142,014千円
 市町村が行う森林の整備や木材利用等に関する施策を支援するため、人材・技術支援、森林情報を一元管理するシステムの運用保守、森林基盤情報の整備、広葉樹材の活用支援等を行う。また、森林や木材利用に関する普及啓発のため、県産木材の普及PRイベント等の事業を行う。
- (8) **林道開設事業費** ④ 190,652千円
 林業経営の効率化や森林の適正な管理を図るため、林道の開設を行う。
 <実施地区>林道猿沢北支線（足柄下郡箱根町）ほか4箇所
- (9) **林道改良事業費** ④ 1,243,654千円
 林道の車両通行の安全性、木材生産の効率性の向上を図るため、法面保全、舗装、局部改良等を行うとともに、橋梁、トンネルの補修を行う。
 <実施地区>林道神の川線（相模原市緑区）ほか39箇所
- ㊦ (10) **全国育樹祭開催準備費** ① 22,074千円
 継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発するため、令和10年秋季の第51回全国育樹祭の開催に向け、会場整備や広報等を行う。

4 水産業の振興

- (1) **磯焼け対策事業費（再掲）** ① 18,496千円
 培養施設で大量に生産した早熟カジメ^{※1}等の種苗を、中間育成施設で成熟するまで育ててから、漁業者や市民団体等と連携して海底に移植することで、藻場の再生を加速化させ、磯焼け^{※2}した漁場の回復を図るとともに、ブルーカーボンによるCO₂吸収効果の増大にもつなげる。

※1 海藻の一種であるカジメのうち成熟が早いもの。

※2 海藻が魚などに食べつくされ藻場が消失する現象。

- (2) 漁業活性化促進事業費 ④ 9,009千円
定置網に、魚群探知機や水中カメラなどの遠隔監視装置を設置することで、陸上に送信された水中画像等をAIが分析し魚種や入網量等を判別するシステムを開発し、操業の効率化等を促進する。
- (3) 魚類等養殖技術開発事業費 ① 14,906千円
小型のマサバに抗酸化作用の高いマグロの血合肉を餌として与え、魚の付加価値を高める養殖技術の開発を引き続き行う。
また、沿岸域における養殖に必要な資材の購入や販促活動の支援など、養殖事業に取り組む地元協議会と協働して試験養殖を行う。
さらに、県内で養殖事業を試験的に行っている複数の漁業者に対し、その事業化へ向けた補助を行う。
- (4) 内水面漁業推進事業費 ① 2,000千円
内水面漁業と地域の振興を図るため、丹沢ヤマメや背掛りアユを活用して遊漁者や観光客等の増加に取り組む。
- (5) 海業推進事業費 ① 17,350千円
経営の多角化により漁業者の所得向上を図るため、海業^{*}に取り組む漁業者と企業のマッチングを行うとともに、シンポジウムやセミナーを開催して海業を促進する。さらに、県内の教育機関と連携して、海業の担い手を育成するための研修を実施する。
※ 漁業を核に商業、観光、教育等の分野を結び付けた複合的産業。
- (6) かながわの魚販売促進事業費 ① 4,950千円
県産水産物の付加価値を向上させ消費を拡大するため、消費者の健康志向等のニーズに応えた、未病改善に役立つ地域特産品を創出する取組への支援を行うほか、手軽に食べられる加工品の開発や小売店等と連携した普及促進のための広報活動を行う。
- (7) 漁業就業・定着化促進支援事業費 ① 2,216千円
新規漁業就業者への船舶免許等の取得補助、就業者の定着に向けたセミナーを開催するほか、漁業体験研修や漁業就業セミナーを実施して就業・定着を支援する。
- (8) あゆ種苗生産委託事業費 ④ 58,111千円
内水面漁業の振興を図るため、河川放流用などのアユの稚魚の生産を行う。

(9) 海底・漂流等ごみ対策事業費 ④ 10,000千円

台風等自然災害により、相模川や酒匂川などの主要河川から海に流出し、漁業の操業に支障をきたす流木等の海底・漂流等ごみの回収・運搬・処理を行うとともに、市町が単独で実施する海洋ごみの回収及び処理事業への助成を行う。

(10) 水産業経営安定対策費 ⑤ 29,894千円

漁業者等の経営安定や近代化等を図るため、必要な資金を低利で借りられるよう融資する金融機関へ利子補給するほか、不漁等の損失を補填する共済事業に補助する。

(11) 水産技術センター試験研究費 ① 102,700千円

水産資源の適切な管理、漁場環境や生態系の保全、栽培漁業や定置網漁業に関する技術の開発等を行うため、水産技術センター(三浦市三崎町城ヶ島)において各種調査・研究を行う。

⑩ (12) 漁業無線局 I P 変換装置整備費 ④ 25,044千円

NTT東日本がアナログ専用回線サービスを終了し I P 通信サービスへ移行することによらない、既設の無線通信設備を引き続き稼働させるために必要な設備整備を行う。

(13) 漁港漁場整備事業費 ④ 1,653,140千円

漁港の機能を維持するため、基本計画等に基づいて県営漁港の整備を実施するとともに、市町が実施する市町営漁港の整備に対して補助する。

<実施地区> 県営漁港整備 三崎漁港(三浦市)、小田原漁港(小田原市)
市町営漁港整備 佐島漁港(横須賀市)ほか7漁港

⑩ (14) 漁港台帳等整備費 ④ 30,200千円

漁港台帳をはじめとした漁港及び漁港海岸における各種情報を電子データ化し、クラウド上の安全なサーバで保管する。

GREEN×EXPO 2027に向けた取組

(1) GREEN×EXPO 2027 会場建設費補助 ④ 952,224千円

令和9年に開催される GREEN×EXPO 2027の会場準備を進めるため、主催者である GREEN×EXPO協会が行う会場建設事業に対して補助する。

- 一部④ (2) GREEN×EXPO 2027 機運醸成費 ① 257,000千円
GREEN×EXPO 2027の開催に向けて、県内全域の機運醸成を図るため、新たに県出展エリアに植栽する花の一部を県内の学校で育てていただくなど、GREEN×EXPO協会や県内市町村、関係団体等と連携しながら、戦略的かつ効果的なPRを行う。
- (3) GREEN×EXPO 2027 出展事業費 ④ 862,000千円
GREEN×EXPO 2027会場の県出展エリアにおける屋外庭園及び屋内展示施設の設計及び工事等を行う。
- ④ (4) GREEN×EXPO 2027 出展運営費 ④ 1,553,154千円
GREEN×EXPO 2027会場の県出展エリアにおいて、県出展のメインテーマである「“Vibrant INOCHI” 一人ひとりの“いのちが輝く”」を発信するため、屋外庭園、屋内展示及び催事の運営等を行う。
- ④ (5) GREEN×EXPO 2027 賓客接遇費 ⑤ 117,541千円
GREEN×EXPO 2027開催期間中に多数の来場が見込まれる国内外からの賓客等に対し、適切な接遇を行う。
- ④ (6) 事業用等EV導入費補助（再掲） ① 870,000千円
来場者の移動を円滑にするとともに、GREEN×EXPO 2027を契機としてEVバスの普及を加速化させるため、EVバスの導入に対して補助する。